

2018 年度 第 2 回 単位互換・京^{みやこ}カレッジに関する事務担当者会議

次 第

日時：2018 年 11 月 16 日（金）

14：00～16：00

場所：キャンパスプラザ京都
第 1 会議室

I 開 会

II 単位互換・京^{みやこ}カレッジ共通の依頼・確認事項

1. 2019 年度「プラザ科目」の出講案内及び事務担当者ガイドについて <別添資料>
2. 2019 年度シラバスの作成依頼と注意事項について <資料 1>
3. 2019 年度単位互換・京カレッジ開講に伴う確認事項について <資料 2>
4. 単位互換・京カレッジ事業にかかわる連絡事項について <資料 3>
4. その他

III 単位互換事業に関する依頼・確認事項

1. 2019 年度のプラザ推奨科目について <資料 4>
2. 2018 年度単位互換の出願状況について <資料 5>
3. 単位互換事業にかかわる連絡事項について <資料 6>
4. その他

IV 京^{みやこ}カレッジ事業に関する依頼・確認事項

1. 2019 年度京カレッジ「市民教養講座開設補助金」の採択について <資料 7>
2. 2018 年度生涯学習事業「京カレッジ」の出願状況について <資料 8>
3. 2019 年度の京カレッジ「大学リレー講座」について <資料 9>
4. その他

V その他

1. 新 PBL 科目の開講予定について <資料 10>
2. 中教審における単位互換制度の検討状況について <別 紙>
3. メール送付物の確認

VI 閉 会

以 上

2019年度単位互換・京カレッジ

シラバス作成のお願いと注意事項

I. シラバスの登録及び修正期間について

2019 年度も単位互換・京カレッジ事業を実施するにあたり、各大学へ科目のご提供をお願いしたいと考えております。ぜひとも京都地域の大学生、社会人にとって魅力のある科目をご提供いただきますよう、お願いいたします。

シラバス情報の登録期間は、次のとおりです。単位互換・京カレッジ総合教務システム「e 京都ラーニング」(<https://el.consortium.or.jp/>) からご登録ください。

シラバス情報登録期間：2018 年 12 月 1 日（土）～2019 年 1 月 18 日（金）【厳 守】

※上記期間以降のシラバス情報の訂正・追加等は大学コンソーシアム京都（以下、財団）が行いますので変更の場合は必ずご連絡ください。

※シラバスの入力内容に誤りがないか、投稿前に必ずご確認ください。

※シラバス入力締切以降に詳細が決定する科目については、財団にご連絡いただいた上で、締切までに仮情報を入力してください。また、確定後は、財団にて修正を行いますので、情報のご提供をお願いします。

※校正作業は以下のとおりいたします。

1. 「単位互換＋京カレッジの両方に提供の科目」または「京カレッジのみに提供の科目」
『京カレッジ生募集ガイド』作成における校正作業において、訂正・追加を行います。
日程、方法等の詳細については、後日メールにてご連絡いたします。

2. 「単位互換のみに提供の科目」

シラバス登録期間以降の追加・訂正等は、文書にて大学コンソーシアム京都にご報告ください。締切は **2 月 14 日（木）** いたします。詳細は後日メールにて連絡いたします。

ご注意 **キャンパスプラザ京都の一斉停電は 2 月 4 日（月）です。この日は e 京都ラーニング・ホームページの閲覧など財団の全てのシステム利用ができませんのでご注意ください。**

II. シラバスの作成について

単位互換・京カレッジ科目の 2019 年度のシラバスは「e 京都ラーニング」の次年度「シラバス入力」に入力いただきます。シラバス入力期間中は、2018 年度のシラバスのコピーデータを次年度「シラバス入力」から編集できるようになっておりますので、継続提供科目は、そのデータを次年度の内容に修正してください。新規科目については、「科目新規登録」からシラバスを入力してください。また、シラバス入力にあたっての注意事項を次ページ以降にまとめておりますので、内容をご確認の上、シラバスの作成を行ってください。

Ⅲ. 入力に関する説明

1. 「テーマ」の設定について

単位互換制度・京カレッジにおけるテーマを以下のとおり設定しています。シラバスの入力の際は、下記テーマ区分に合うようにテーマをご選択ください。

なお、大学コンソーシアム京都にてテーマ区分を変更した方がよいと判断した場合は、変更をお願いすることがありますことを予めご了承ください。

【テーマ設定】

	テーマ	該当する科目
大学講義	A 京（みやこ）を学ぶ	京の歴史、伝統文化、産業、地域、観光など京都を多様な角度から学ぶ科目群
	B 歴史を学ぶ	日本史、世界史、考古学、地史学、民俗学、郷土史、古文書など歴史感を養う科目群
	C 文化・芸術を学ぶ	文学、古典、音楽、美術、デザイン、絵画、工芸、芸能など文化・芸術に親しむ科目群
	D ことば・言語を学ぶ	語学、言語学、外国語、表現、演劇、コミュニケーション法など表現を身に付ける学ぶ科目群
	E 教育・人生観を学ぶ	心理、教育、宗教学、哲学、倫理、思想など人の生き方、育て方を考える科目群
	F 生活・健康・スポーツを学ぶ	暮らし、福祉、看護、健康、スポーツ、生命医学などライフスタイルにかかわる知識を得る科目群
	G 自然・環境を学ぶ	環境学、地理学、農学、天文学、物理学、生物学、生態学など自然界に触れる科目群
	H 現代社会を学ぶ	法学、経済学、経営学、政治学、社会学、科学技術、情報学など多様な観点から現代社会を観察する科目群
	I 国際関係を学ぶ	法、政治、教育、福祉、比較文化、海外セミナーなどを通じて世界情勢を知り、グローバルな視点を養う科目群
市民教養講座（京カレ）	J 市民教養講座	大学が開講する公開講座やシンポジウムを通して、幅広い分野における教養を高めるプログラム
	K 京都力養成コース	歴史・文化・芸術等の宝庫である京都をフィールドに、蓄積された研究から京都をより深く学べる特色あるプログラム
	L 教養力養成コース	京カレッジ独自に提供される文化力・地域力（地域人材の育成）の向上を目的としたプログラム

2. 「制度種別」の選択について

単位互換科目のみの場合は「単位互換」、京カレッジ科目のみの場合は「京カレッジ」、両方に提供される科目については「単位互換／京カレッジ」を選択してください。

3. 「英文科目名」の入力について【単位互換のみ】

加盟大学の中には、事務処理の都合上、単位互換科目の「英文科目名称」の入力を必要とされている大学がございます。ほとんどの科目で入力されておりますが、一部の科目で入力されていない科目がございますので、原則として「英文科目名称」を入力するようにしてください。

万が一、「英文科目名称」の入力が難しい大学ございましたら、財団までご相談ください。

4. 「履修対象大学」における「対象大学入力支援」の選択について

単位互換科目のみの場合は、「対象大学入力支援」ボックスの「単位互換」、京カレッジ科目のみの場合は「京カレッジ」、両方に提供される科目については「単位互換／京カレッジ」を選択してください。自動的に対象大学が表示されます。

5. 「開講期間」の入力について

具体的な日程、講時（時間帯を含む）を入力サンプルに従って詳細に入力してください。ブラザ科目における開講期間は「学年暦（ブラザ科目）」に沿って以下のとおりとします。開講期間以外の期間設定はできません。

※ 2019年度は 12月23日（月）～1月4日（土）が講義休止期間となっておりますので、ご注意ください。

※ オンキャンパス科目には科目開設大学の学年暦に沿って期間設定をお願いします。

6. 「開講形態」の入力について

e 京都ラーニングで選択できる「開講形態」（開講期）の種別が多くなっており、学生がシステムで科目検索を行う際に混乱が生じていたことから、2016年度から以下のとおり科目種別を変更しました。

新開講形態	旧開講形態
前期・春学期	前期、春学期、前期集中、春学期集中
後期・秋学期	後期、秋学期、後期集中、秋学期集中
通年	通年
夏期集中	夏期集中
集中	集中（上記の4つの分類に当てはまらない科目）

【プラザ科目開講期間の設定】

曜日	期 間	開 始 日	終 了 日
火	通 年	2019年4月9日	2020年1月14日
	前期・春学期	2019年4月9日	2019年7月16日
	後期・秋学期	2019年9月24日	2020年1月14日
水	通 年	2019年4月10日	2020年1月15日
	前期・春学期	2019年4月10日	2019年7月17日
	後期・秋学期	2019年9月25日	2020年1月15日
木	通 年	2019年4月11日	2020年1月16日
	前期・春学期	2019年4月11日	2019年7月18日
	後期・秋学期	2019年9月26日	2020年1月16日
金	通 年	2019年4月12日	2020年1月17日
	前期・春学期	2019年4月12日	2019年7月26日
	後期・秋学期	2019年9月27日	2020年1月17日
土	通 年	2019年4月13日	2020年1月18日
	前期・春学期	2019年4月13日	2019年7月27日
	後期・秋学期	2019年9月21日	2020年1月18日
日	通 年	2019年4月7日	2020年1月12日
	前期・春学期	2019年4月7日	2019年7月21日
	後期・秋学期	2019年9月22日	2020年1月12日

＜注意事項＞週 2 回以上開講している科目は、最初の日から最後の日までをご選択ください。

※夏期集中期間：2019 年 8 月 4 日～2019 年 9 月 20 日

7. 「開講曜日・講時」の入力について

開講曜日・講時を選択する欄については、以下を基準にしてください。

プラザ科目の場合	プラザ科目の時間割に沿って選択をしてください。
オンキャンパス科目の場合	科目開設大学の時間割に沿って選択をしてください。

※ 選択できる講時は 1 項目となります。2 講時にまたがる講義については、開始講時を選んでいただき、開講期間などに詳細を記載するようにしてください。

※ 開講期間に入力した曜日・講時と開講曜日・講時のチェックが一致しているかご確認いただきますようお願いいたします。

【プラザ科目時間割】

講時	時 間
1	9:00 ～ 10:30
2	10:50 ～ 12:20
3	12:40 ～ 14:10
4	14:30 ～ 16:00
5	16:20 ～ 17:50
6	18:10 ～ 19:40
7	20:00 ～ 21:30

8.「授業形式」の選択について

授業形式については、以下の4項目からの選択となっております。

対面授業（プラザ）	キャンパスプラザ京都での授業
対面授業（オンキャンパス）	科目開設大学での授業
VOD	デジタルコンテンツでの授業
ブレンディッド	VODと対面授業の両方を含んだ授業

※キャンパスプラザ京都 6F 共同サテライト教室で行う授業は「オンキャンパス科目」扱いです。

9.「その他特記事項」について

オンキャンパス科目における、「教室情報」についてはこちらに記載してください。シラバス締切以降に決定する場合は、ケース①を参考に記載して頂き、決定次第「お知らせ」にて掲出してください。（プラザ科目については、財団 HP に掲載するため記載の必要はありません。）

また、記載が想定される例として以下を参考に受講にあたっての注意点を記載してください。

	ケース	『その他特記事項』に以下を記載
①	シラバス締切以降にオンキャンパス科目の教室が決定	『決定次第、「お知らせ」へ掲示します。不明な点があれば連絡先まで問い合わせください。』
②	科目名称を変更	「過去に〇〇〇（科目名）を受講した学生は、同一科目のため登録できません。」
③	同一科目を前期と後期別で開講	「前期に〇〇〇（科目名）を受講した学生は、同一科目のため後期は履修できません。」

10.「講義スケジュール」の入力について

講義スケジュールについては、15回記載できるフォーマットをあらかじめ準備しております。15回以下の科目については、残りのフォーマットを削除いただきご記入ください。なお、シラバス形式統一のため記載の回数表示の変更はなるべくお避けください。

また、プラザ科目につきましては教室配当の際に、講義スケジュール欄に記載していただいた内容で教室調整をいたしますので、日時及びキャンパスプラザ以外を使用される等について詳しく記載していただきます様をお願いします。

11.「掲載期間」「出願期間」「出願期間表示設定」について

上記項目は以下のとおり統一してください（前期登録に対応しています。）。

掲載期間	2019-03-6～2020-03-31 ※ 別途財団で設定をしますので入力不要です。
出願期間	2019-03-22～2019-04-12
出願期間表示設定	表示しない（初期設定どおり）
承認結果公開日	2019-04-19

12. 「開講期間設定」について

「開講期間設定」については、2018 年度での e ラーニング（moodle）の終了に伴い、入力の必要はありません。

13. 開講しない科目について

2018 年度開講のうち 2019 年度に開講されない科目は、e 京都ラーニングから必ず削除してください。

14. 文字化けする可能性のある文字について

英語以外のアルファベット（フランス語の "è" など）や、中国語の漢字、外字などは、入力可能ですが、e 京都ラーニング上では文字化けする可能性があります。代替の文字やカタカナで入力いただくなどのご対応をお願いします。

15. スペース、頭揃えの指定について

シラバスの校正・修正の際に、段落の頭揃えやスペースの間隔の修正などのご要望をいただくことがあります。e 京都ラーニング上では、システムの仕様との関係で対応できない場合もございますので、ご了承ください。

※ 京カレッジ募集ガイド（冊子）ではご要望どおり対応いたします。

16. その他

来年度予定されている新天皇即位に関係し、現在の状況として来年 4 月 27 日から 5 月 6 日まで 10 連休となることが見込まれています。決定次第、プラザ科目学年歴を修正のうえお送りします。プラザ科目については、新たにお送りするプラザ科目学年歴を参照のうえシラバスを作成してください。

以 上

【プラザ科目学年暦】

2019年度プラザ科目学年暦

4月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
①		①	①	①	①	①
14	15	16	17	18	19	20
②		②	②	②	②	③
21	22	23	24	25	26	27
③		③	③	③	③	③
28	29	30				
④						

4/7 前期講義開始日
4/29 昭和の日

5月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			④	④		
5	6	7	8	9	10	11
			⑤	⑤	④	④
12	13	14	15	16	17	18
⑤		⑥	⑥	⑥	⑤	⑤
19	20	21	22	23	24	25
⑥		⑦	⑦	⑦	⑥	⑥
26	27	28	29	30	31	
⑦		⑧	⑧	⑧	⑦	

5/3 憲法記念日
5/4 みどりの日
5/5 こどもの日
5/6 振替休日

6月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
						⑦
2	3	4	5	6	7	8
⑧		⑨	⑨	⑨	⑧	⑧
9	10	11	12	13	14	15
⑨		⑩	⑩	⑩	⑨	⑨
16	17	18	19	20	21	22
⑩		⑪	⑪	⑪	⑩	⑩
23	24	25	26	27	28	29
⑪		⑫	⑫	⑫	⑪	⑪
30						
⑫						

7月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
		⑬	⑬	⑬	⑫	⑫
7	8	9	10	11	12	13
⑬		⑭	⑭	⑭	⑬	⑬
14	15	16	17	18	19	20
⑭		⑮	⑮	⑮	⑭	⑭
21	22	23	24	25	26	27
⑮		補	補	補	⑮	⑮
28	29	30	31			
試		試	試			

7/28～8/3 前期試験期間(8/6 試験予備日)
7/15 海の日

8月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				試	試	試
4	5	6	7	8	9	10
			試			
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8/4～9/20 集中講義期間
8/6 試験予備日
8/11 山の日
8/12 振替休日

9月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
						①
22	23	24	25	26	27	28
①		①	①	①	①	②
29	30					
②						

9/21 後期講義開始日
9/16 敬老の日
9/23 秋分の日

10月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		②	②	②	②	③
6	7	8	9	10	11	12
③		③	③	③	③	④
13	14	15	16	17	18	19
④		④	④	④	④	⑤
20	21	22	23	24	25	26
⑤		⑤	⑤	⑤	⑤	⑥
27	28	29	30	31		
⑥		⑥	⑥	⑥		

10/14 体育の日

11月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					⑥	⑦
3	4	5	6	7	8	9
		⑦	⑦	⑦	⑦	⑧
10	11	12	13	14	15	16
⑦		⑧	⑧	⑧	⑧	⑨
17	18	19	20	21	22	23
⑧		⑨	⑨	⑨	⑨	
24	25	26	27	28	29	30
⑨		⑩	⑩	⑩	⑩	⑩

11/3 文化の日
11/4 振替休日
11/23 勤労感謝の日

12月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
⑩		⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
8	9	10	11	12	13	14
⑪		⑪	⑪	⑪	⑪	⑪
15	16	17	18	19	20	21
⑫		⑫	⑫	⑫	⑫	⑫
22	23	24	25	26	27	28
⑬						
29	30	31				

12/23～1/4 講義休止期間
12/23 天皇誕生日
12/24 振替休日

1月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
⑭		⑭	⑭	⑭	⑭	⑭
12	13	14	15	16	17	18
⑮		⑮	⑮	⑮	⑮	⑮
19	20	21	22	23	24	25
補		補	試	試	試	試
26	27	28	29	30	31	
試		試				

1/5 講義再開
1/22～1/28 後期試験期間
1/31 試験予備日
1/1 元日
1/13 成人の日

2月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

2/11 建国記念の日

3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

3/20 春分の日

・①～⑮の数字は前期・後期の各講義日15回を示す。「補」は補講、「試」は試験を表す。
・前期: 4月7日(日)～7月27日(土) 試験期間: 7月28日(日)～8月3日(土)
・後期: 9月21日(土)～1月18日(土) 試験期間: 1月22日(水)～1月28日(火)

2018（平成30）年11月16日

大学コンソーシアム京都加盟校

単位互換・京カレッジ事務担当者 各位

公益財団法人大学コンソーシアム京都
教育事業部

2019年度単位互換・京カレッジ開講に伴う確認事項について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素から単位互換・京カレッジ
両事業の運営にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして、下記のとおりご回答くださいますようお願いいたします。

記

【確認事項】

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 参加大学地図・連絡先一覧 | 【京カレッジ提供校のみ】 |
| 2. 各大学・短期大学 手続一覧 | 【京カレッジ提供校のみ】 |
| 3. 各大学・短期大学図書館利用一覧 | 【京カレッジ提供校のみ】 |
| 4. 各大学の独自の生涯学習講座のご紹介 | 【京カレッジ提供校のみ】 |

※1～4は、京カレッジ募集ガイド及びHP等に掲載します。

変更の有無にかかわらず添付の「回答票」をご提出ください。修正のある場合は、
回答票にお書きいただくか、今年度の記載内容に朱書き訂正の上、ご提出願います。

5. 単位互換リーフレット・京カレッジ募集ガイド送付部数希望調査【全大学対象】

- ①添付エクセル表にて必要部数をお知らせください。なお、単位互換のリーフレットは
新入生と2年次生に全員に配布いただきたいと考えております。該当する学生数をお
知らせください。
- ②単位互換リーフレット（A4/三つ折り/6ページ）は2月下旬頃、京カレッジ募集ガイド
は3月上旬の発送を予定しています。
- ③添付エクセル表の大学名、送付先住所または送付部署に変更がある場合はお知らせく
ださい。

6. 京都世界遺産 PBL 科目チラシ追加送付（11月中を予定）

来年度の京都世界遺産 PBL 科目の開講に向けて、在学生向けに財団での残存部数にて
追加送付を行います。上記の調査に先立ち、現時点にて財団で把握している住所へお送
りしますので、特に送付先等の変更がある場合は別途ご連絡ください。

なお、送付部数については財団にて残存部数や過去の送付数などを参考に別紙のとお
り決定のうえ、送付させていただきますのでご容赦願います。

【回答方法】

2018年12月14日（金）までに回答票及び朱書き訂正した内容を、郵送・メール（PDF
添付等）・FAXにてご提出ください。

【お問い合わせ先】

大学コンソーシアム京都 単位互換・京カレッジ担当：馬渡・福廣・中谷・堀江
〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都内
TEL. 075-353-9140 FAX. 075-353-9121
E-MAIL : tg@consortium.or.jp

2019 年度単位互換・京カレッジ開講に伴う確認事項 回答票

大学名		
回答者の情報	部署名	
	氏名	
	TEL	
	E-MAIL	
シラバス原稿の担当者	部署名	
	氏名	
	TEL	
	E-MAIL	

確認事項	修正有無	内容を変更する【変更内容を記入してください】			
1. 参加大学地図・連絡先一覧	有・無				
2. 各大学・短期大学 手続一覧	有・無				
3. 各大学・短期大学図書館利用一覧	有・無	閲覧 ○×	貸出 ○×	利用時間	備考
4. 各大学の独自の生涯学習講座	有・無	窓口			
		住所			
		TEL			
		FAX			
		E-MAIL			
		主な生涯学習事業 (100字以内)			
		URL			
募集ガイドに対するご意見等					

【2018 年 12 月 14 日（金）までに必ずご提出ください】

送付先大学・短期大学(部)名	単位互換紹介リーフレット	京カレッジ募集ガイド	郵便番号	大学・短期大学(部)住所	送付先部課名	電話番号
池坊短期大学			〒600-8491	京都市下京区四条室町鶏鉾町	教務部	075-351-8595
大阪医科大学			〒569-8686	高槻市大学町2-7	学務部教育センター課	072-683-1221
大谷大学・短期大学部			〒603-8143	京都市北区小山上総町	学生支援部教務課	075-411-8117
京都華頂大学・華頂短期大学			〒605-0062	京都市東山区林下町3-456	学生部修学支援課	075-551-1282
京都大学			〒606-8501	京都市左京区二本松町	教育推進・学生支援部教務企画課	075-753-2499
京都外国語大学・短期大学			〒615-8558	京都市右京区西院笠目町6	教務部	075-322-6764
京都学園大学・京都亀岡キャンパス			〒621-8555	亀岡市曾我部町南条大谷1-1	教育修学支援センター事務室	0771-29-2375
京都学園大学・京都太秦キャンパス			〒615-8577	京都市右京区山ノ内五反田町18	教育修学支援センター事務室	075-406-9123
京都教育大学			〒612-8522	京都市伏見区深草藤森町1	教務・入試課教務グループ	075-644-8150
京都経済短期大学			〒610-1195	京都市西京区大枝東長町3-1	学生支援課	075-331-3159
京都光華女子大学・短期大学部			〒615-0882	京都市右京区西京極葛野町38	学生サポートセンター修学担当	075-325-5309
京都工芸繊維大学			〒606-8585	京都市左京区松ヶ崎橋上町1	学務課学部教務係	075-724-7221
嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学			〒616-8362	京都市右京区嵯峨五島町1	教務・学生支援グループ	075-864-7867
京都産業大学			〒603-8555	京都市北区上賀茂本山	教学センター(教務担当)	075-705-1425
京都女子大学			〒605-8501	京都市東山区今熊野北日吉町35番地	教務課	075-531-7048
京都市立芸術大学			〒610-1197	京都市西京区大枝沓掛町13-6	教務学生課(教務担当)	075-334-2220
京都精華大学			〒606-8588	京都市左京区岩倉木野町137	教務部教務課	075-702-5119
京都西山短期大学			〒617-0811	京都府長岡京市粟生西条26	教学室	075-951-0023
京都造形芸術大学			〒606-8271	京都市左京区北白川瓜生山2-116	教学事務室教学支援グループ	075-791-9165
京都橘大学			〒607-8175	京都市山科区大宅山田町34	学務第1課	075-574-4324
京都ノートルダム女子大学			〒606-0847	京都市左京区下鴨南野々神町1番地	教務課	075-706-3745
京都美術工芸大学			〒605-0991	京都市東山区川端通七条上ル	事務センター	075-525-1515
京都府立大学			〒606-8522	京都市左京区下鴨半木町1-5	学務課 教務担当	075-703-5118
京都府立医科大学			〒602-8566	京都市上京区河原町通広小路上の梶井町465	学生課	075-251-5228
京都文教大学			〒611-0041	宇治市横島町千足80	教務課	0774-25-2426
京都文教短期大学			〒611-0041	宇治市横島町千足80	教務課	0774-25-2411
京都薬科大学			〒607-8414	京都市山科区御陵中内町5	教務課	075-595-4613
種智院大学			〒612-8156	京都市伏見区向島西定請70番地	教務課	075-604-5600
成安造形大学			〒520-0248	大津市仰木の里東4-3-1	学生支援部門 教務課	077-574-2113
福知山公立大学			〒620-0886	福知山市市堀3370	教務学生課 教務係	0773-24-7100
同志社大学・今出川キャンパス			〒602-8580	京都市上京区今出川通烏丸東入玄武町601	今出川校地教務課庶務係	075-251-3200
同志社大学・京田辺キャンパス			〒610-0394	京田辺市多々羅都谷1-3	今出川校地教務課学務共通係	0774-65-7053
同志社女子大学・京田辺キャンパス			〒610-0395	京田辺市興戸南鉾上97-1	教務課	0774-65-8413
同志社女子大学・今出川キャンパス			〒602-0893	京都市上京区今出川通寺町西入	教務課	075-251-4127
花園大学			〒604-8456	京都市中京区西ノ京壺ノ内町8-1	学務課	075-823-0583
佛教大学			〒603-8301	京都市北区紫野北花ノ坊町96	教務課	075-491-2141
平安女学院大学・短期大学部高槻キャンパス			〒569-1092	高槻市南平台5-81-1	教務チーム	072-693-2462
平安女学院大学 京都キャンパス			〒602-8013	京都市上京区下立売通烏丸西入五丁目町172-2	教務チーム	075-414-8160
明治国際医療大学			〒629-0392	南丹市日吉町保野田ヒノ谷6-1	教務課 教務担当	0771-72-1183
立命館大学・衣笠キャンパス			〒603-8577	京都市北区等持院北町56-1	教務課(至徳館4階)	075-466-3350
立命館大学・BKCキャンパス			〒525-8577	草津市野路東1-1-1	BKC教学課	077-561-3457
立命館大学・OICキャンパス			〒567-8570	大阪府茨木市岩倉町2-150	OIC教学課	
龍谷大学・大宮キャンパス			〒600-8268	京都市下京区下魚棚通黒門東入大工町125-1	文学部教務課	075-343-3311
龍谷大学・瀬田キャンパス			〒520-2194	大津市瀬田大江町横谷1-5	瀬田教学部	077-543-7730
龍谷大学・深草キャンパス			〒612-8577	京都市伏見区深草塚本町67	教学部	075-645-7891
早稲田大学			〒169-8050	東京都新宿区西早稲田1-6-1	グローバルエデュケーションセンター	03-3204-9196

送付先大学・短期大学（部）名	単位互換紹介リーフレット	京カレッジ募集ガイド	郵便番号	大学・短期大学（部）住所	送付先部課名	電話番号
池坊短期大学	400	5	〒600-8491	京都市下京区四条室町鶴鈴町	教務部	075-351-8595
大阪医科大学	200	なし	〒569-8686	高槻市大学町2-7	学務部教育センター課	072- 683- 1221
大谷大学・短期大学部	1450	65	〒603-8143	京都市北区小山上総町	学生支援部教務課	075-411-8117
京都華頂大学・華頂短期大学	600	50	〒605-0062	京都市東山区林下町3-456	学生部修学支援課	075-551-1282
京都大学	20	2	〒606-8501	京都市左京区二本松町	教育推進・学生支援部教務企画課	075-753-2499
京都外国語大学・短期大学	100	30	〒615-8558	京都市右京区西院笠目町6	教務部	075-322-6764
京都学園大学・京都亀岡キャンパス	10	5	〒621-8555	亀岡市曾我部町南条大谷1-1	教育修学支援センター事務室	0771-29-2375
京都学園大学・京都太秦キャンパス	50	5	〒615-8577	京都市右京区山ノ内五反田町18	教育修学支援センター事務室	075-406-9123
京都教育大学	1100	4	〒612-8522	京都市伏見区深草藤森町1	教務・入試課教務グループ	075-644-8548 8150
京都経済短期大学	450	3	〒610-1195	京都市西京区大枝東長町3-1	学生支援課	075-331-3159
京都光華女子大学・短期大学部	650	8	〒615-0882	京都市右京区西京極葛野町38	学生サポートセンター修学担当	075-325-5309
京都工芸繊維大学	180	3	〒606-8585	京都市左京区松ヶ崎橋上町1	学務課学部教務係	075-724-7221
嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学	150	30	〒616-8362	京都市右京区嵯峨五島町1	教務・学生支援グループ	075-864-7867
京都産業大学	10	10	〒603-8555	京都市北区上賀茂本山	教学センター（教務担当）	075-705-1425
京都女子大学	300	3	〒605-8501	京都市東山区今熊野北日吉町35番地	教務課 教職支援センター	075-531-7275 7048
京都市立芸術大学	50	10	〒610-1197	京都市西京区大枝沓掛町13-6	教務学生課（教務担当）	075-334-2220
京都精華大学	300	5	〒606-8588	京都市左京区岩倉木野町137	教務部教務課	075-702-5119
京都西山短期大学	10	10	〒617-0811	京都府長岡京市粟生西条26	教室	075-951-0023
京都造形芸術大学	50	4	〒606-8271	京都市左京区北白川瓜生山2-116	教学事務室教学支援グループ	075-791-9165
京都橘大学	50	5	〒607-8175	京都市山科区大宅山田町34	学務第1課	075-574-4324
京都ノートルダム女子大学	200	5	〒606-0847	京都市左京区下鴨南野々神町1番地	教務課	075-706-3745
京都美術工芸大学	100	5	〒605-0991	京都市東山区川端通七条上ル	事務センター	075-525-1515
京都府立大学	1000	15	〒606-8522	京都市左京区下鴨半木町1-5	学務課 教務担当	075-703-5118
京都府立医科大学	40	6	〒602-8566	京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465	学生課	075-251-5228
京都文教大学	1100	5	〒611-0041	宇治市横島町千足80	教務課	0774-25-2426
京都文教短期大学	500	5	〒611-0041	宇治市横島町千足80	教務課	0774-25-2411
京都薬科大学	800	3	〒607-8414	京都市山科区御陵中内町5	教務課	075-595-4613
種智院大学	20	10	〒612-8156	京都市伏見区向島西定請70番地	教務課	075-604-5600
成安造形大学	600	2	〒520-0248	大津市仰木の里東4-3-1	学生支援部門 教務課	077-574-2113
福知山公立大学	350	10	〒620-0886	福知山市字堀3370	教務学生課 教務係	0773-24-7100
同志社大学・今出川キャンパス	1500	60	〒602-8580	京都市上京区今出川通烏丸東入玄武町601	今出川校地教務課庶務係	075-251-3200
同志社大学・京田辺キャンパス	75	50	〒610-0394	京田辺市多々羅都谷1-3	今出川校地教務課学務共通係	0774-65-7053
同志社女子大学・京田辺キャンパス	300	2	〒610-0395	京田辺市興戸南鈴立97-1	教務課	0774-65-8413
同志社女子大学・今出川キャンパス	300	2	〒602-0893	京都市上京区今出川通寺町西入	教務課	075-251-4127
花園大学	900	10	〒604-8456	京都市中京区西ノ京壺ノ内町8-1	学務課	075-823-0583
佛教大学	500	20	〒603-8301	京都市北区紫野北花ノ坊町96	教務課	075-491-2141
平安女学院大学・短期大学部高槻キャンパス	150	5	〒569-1092	高槻市南平台5-81-1	教務チーム	072-693-2462
平安女学院大学 京都キャンパス	360	10	〒602-8013	京都市上京区下立売通烏丸西入五町目町172-2	教務チーム	075-414-8160
明治国際医療大学	30	10	〒629-0392	南丹市日吉町保野田ヒノ谷6-1	教務課 教務担当	0771-72-1183
立命館大学・衣笠キャンパス	10	10	〒603-8577	京都市北区等持院北町56-1	教務課（至徳館4階）	075-466-3350
立命館大学・BKCキャンパス	0	0	〒525-8577	津草市野路東1-1-1	BKC教学課	077-561-3457
立命館大学・OICキャンパス	0	0	〒567-8570	大阪府茨木市岩倉町2-150	OIC教学課	
龍谷大学・大宮キャンパス	100	0	〒600-8268	京都市下京区下魚棚通黒門東入大工町125-1	文学部教務課	075-343-3311
龍谷大学・瀬田キャンパス	300	0	〒520-2194	大津市瀬田大江町横谷1-5	瀬田教学部	077-543-7730
龍谷大学・深草キャンパス	500	20	〒612-8577	京都市伏見区深草塚本町67	教学部	075-645-7891
早稲田大学	50	1	〒169-8050	東京都新宿区西早稲田1-6-1	グローバルエデュケーションセンター	03-3204-9196

2018年度 京都世界遺産PBL科目チラシ・単位互換リーフレット追加送付部数（11月中送付予定）

送付先大学・短期大学（部）名	PBLチラシ	単位互換 リーフレット
池坊短期大学	250	25
大阪医科大学	150	15
大谷大学・短期大学部	400	90
京都華頂大学・華頂短期大学	350	35
京都大学	20	5
京都外国語大学・短期大学	50	5
京都学園大学・京都亀岡キャンパス	10	5
京都学園大学・京都太秦キャンパス	50	5
京都教育大学	400	65
京都経済短期大学	250	25
京都光華女子大学・短期大学部	350	35
京都工芸繊維大学	100	10
嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学	80	10
京都産業大学	50	5
京都女子大学	200	15
京都市立芸術大学	50	5
京都精華大学	200	15
京都西山短期大学	10	5
京都造形芸術大学	50	5
京都橘大学	50	5
京都ノートルダム女子大学	150	15
京都府立大学	400	65
京都府立医科大学	50	5
京都文教大学	400	65
京都文教短期大学	300	25
京都薬科大学	400	50
種智院大学	50	5
成安造形大学	350	35
同志社大学・今出川キャンパス	400	90
同志社大学・京田辺キャンパス	50	5
同志社女子大学・京田辺キャンパス	200	15
同志社女子大学・今出川キャンパス	200	15
花園大学	400	50
佛教大学	300	25
平安女学院大学 京都キャンパス	200	15
平安女学院大学・短期大学部高槻キャンパス	100	5
明治国際医療大学	50	5
立命館大学・衣笠キャンパス	50	5
立命館大学・BKCキャンパス	-	-
立命館大学・OICキャンパス	-	-
龍谷大学・大宮キャンパス	50	5
龍谷大学・瀬田キャンパス	150	15
龍谷大学・深草キャンパス	250	25
早稲田大学	20	5
京都美術工芸大学	50	5
福知山公立大学	200	15

2019 年度単位互換・京カレッジに関する確認事項

2019 年度単位互換・京カレッジ開講に伴う事前準備やリーフレット、募集ガイド作成等に関する確認事項を、本会議後にメールにてご連絡いたします。

つきましては、下記の内容をご確認いただき最新・正確な情報提供をお願いいたします。特に、紙媒体に掲載する情報は、各大学の記載内容もご参考いただき、読みやすさに配慮した工夫をお願いいたします。

なお、各様式のご回答期日は、12 月 14 日（金）までとさせていただきます。

	様式名	単位互換	京カレッジ
1	参加大学地図・連絡先一覧 変更有無調査	—	○
2	各大学・短期大学手続一覧 （京カレッジ募集ガイド掲載用）	—	○
3	各大学・短期大学図書館利用一覧 変更連絡調査（京カレッジ募集ガイド掲載用）	—	○
4	各大学の独自の生涯学習講座 窓口部署調査（京カレッジ募集ガイド掲載用）	—	○
5	単位互換リーフレット・京カレッジ募集ガイド送付部数希望調査 単位互換リーフレット（配布対象：新入生、2 年次生全員） 京カレッジ募集ガイド 送付部数調査表	○	○

※上記の他、後日改めて「2019 年度学部学科・会場情報と出願資格の確認」についての調査を行います。ご協力くださいますようお願いいたします。

（ご報告期日：2019 年 1 月 18 日（金） ※シラバス登録最終日と同日です）

以 上

単位互換・京カレッジ事業にかかわる連絡事項について

○「プラザ科目」における授業・試験休止の取り扱い基準の変更について

（１）変更理由

現行の授業休止の基準に記載されている、交通機関の運行休止の場合における２つ以上の交通機関の考え方について、誤認しかねない記載等を再整理し、この度記載内容の変更を行う。

また、近年の予想を超える大雨等の気象状況もあり、下記の警報発令時以外にも財団の判断が求められる事例が発生している。これまで注釈としての記載としていた大学コンソーシアム京都の判断の部分について授業休止基準に明記するとともに、特別警報に位置づける警報（津波・火山噴火・地震）についても記載する。

（２）変更の内容

		変更案	現行
授業 休 止 の 基 準 (1) (2) (3) い ず れ か が 生 じ た 場 合	(1) 警 報 の 発 令	京都府南部または京都・亀岡区域（二次細分区域）に特別警報、 <u>特別警報に位置づける警報</u> あるいは暴風警報が発令された場合	京都府南部または京都・亀岡区域（二次細分区域）に特別警報または暴風警報が発令された場合
	(2) 交 通 機 関 の 運 行 休 止	下記①～⑤のうち２つ以上該当する <u>それらの交通機関</u> が同時に全面的・部分的に運行休止または運転見合わせの場合 ※以下カッコ内は対象路線 ①京都市バス・京都市営地下鉄（全路線） ②ＪＲ（ <u>京都駅発着の在来線</u> ） ③京阪電車（出町柳～淀屋橋または中之島間） ④阪急電車（河原町～梅田間） ⑤近鉄電車（京都～大和西大寺間）	下記のうち２つ以上の交通機関が同時に全面的・部分的に運行休止または運転見合わせの場合 ①京都市バスまたは京都市営地下鉄（全路線） ②ＪＲ西日本（京都線・琵琶湖線・湖西線・奈良線・嵯峨野線のいずれか） ③京阪電車（出町柳～淀屋橋または中之島間） ④阪急電車（河原町～梅田間） ⑤近鉄電車（京都～大和西大寺間）
	(3) そ の 他	<u>上記の基準に関わらず授業・試験の実施について大学コンソーシアム京都が困難であると判断した場合</u>	記載なし

<参考>特別警報に位置づける警報：気象庁リーフレット参照

○津波：大津波警報を特別警報に位置づける

○火山噴火：噴火警報（噴火警戒レベル４以上）及び噴火警報（居住地域）を特別警報に位置づける

○緊急地震速報（震度６弱以上）を特別警報に位置づける

交通機関の不通、警報等の発令時における休講措置について

キャンパスプラザ京都で開講される単位互換・京カレッジ科目である「プラザ科目」と大学コンソーシアム京都インターンシッププログラムについて、暴風警報や特別警報の発令時や、災害またはストライキ等で交通機関の運行休止時が発生した場合、授業・試験を休止する基準を以下のとおり定めていますので、基準に従い各自で判断してください。

なお、大学・短期大学のキャンパスで開講される「オンキャンパス科目」については、各大学・短期大学の指示に従ってください。

1. 授業・試験の休止基準

次の（１），（２），（３）いずれかに該当する場合、授業や試験を休止・延期します。警報の発令・解除及び交通機関の運行状況は、テレビ・ラジオ等の報道機関あるいは気象庁のホームページ等で確認してください。

~~また、次の基準にかかわらず、大学コンソーシアム京都が授業・試験の実施に支障があると判断した場合は、授業・試験を休止することがあります。~~

（１）警報の発令

京都府南部または京都・亀岡区域（二次細分区域）に特別警報、特別警報に位置づける警報あるいは暴風警報が発令された場合

（２）交通機関の運行休止

下記①～⑤のうち２つ以上該当するそれらの交通機関が同時に全面的または部分的に運行休止の場合 ※以下カッコ内は対象路線

- ①京都市バス・京都市営地下鉄（全路線）
- ②ＪＲ（京都駅発着の在来線）
- ③京阪電車（出町柳～淀屋橋または中之島間）
- ④阪急電車（河原町～梅田間）
- ⑤近鉄電車（京都～大和西大寺間）

（３）その他

上記の基準に関わらず授業・試験の実施について大学コンソーシアム京都が困難であると判断した場合

2. 授業・試験の実施基準

特別警報、特別警報に位置づける警報あるいは暴風警報が解除された場合、または交通機関の運行が再開された場合は、以下の基準により授業・試験を実施します。

なお、授業中または試験中に警報が発令された場合は、原則として実施中の授業・試験については休止または延期せず、その次の時限から休止または延期の措置を取ります。

判断基準	対 応
7：00 までに解除または運行再開の場合	1 講時（9：00）から実施
10：30 までに解除または運行再開の場合	3 講時（12：40）から実施
14：00 までに解除または運行再開の場合	5 講時（16：20）から実施
14：00 を過ぎても解除または運行再開されない場合	終日授業・試験を休止

3. 授業休止または試験延期後の措置

授業休止による補講、試験休止による試験日の設定は、教員や科目提供大学とも調整の上、

① 京都ラーニングやキャンパスプラザ京都 1 階掲示板等でお知らせします。

2019年度のプラザ推奨科目について

2019年度プラザ推奨科目として採択された、9大学から申請のあった15件（新規2科目・継続(更新)13科目）について、下記のとおり報告いたします。

1. 2019年度新規開設科目

科目区分	科 目 名	大 学	担 当 者	開講期間	開始年度	備考
演習・実習	地域公共人材特別講座（新PBL入門）	龍谷大学	只友 景士	通年	19	1年目
演習・実習	子供のネット安全教育の理論と実践	京都ノートルダム女子大学	神月 紀輔	通年	19	1年目

※科目区分 講義：プラザ推奨科目（講義形式） 演習・実習：プラザ推奨科目（演習・実習形式） 世界遺産：プラザ推奨科目（京都世界遺産PBL科目）

2. 継続(更新)科目（13科目〈5年目：6科目 4年目：1科目 3年目：1科目 2年目：5科目〉）※京都世界遺産PBL科目のみ最長6年

科目区分	科 目 名	大 学	担 当 者	開講期間	開始年度	備考
講義	天文学と私たち ー神山天文台と138億光年の地平線ー	京都産業大学	中道 晶香	夏季集中	18	2年目
講義	京都の文化・歴史・観光 ー京都検定への誘いー	京都産業大学	吉野 秋二	前期	18	2年目
講義	京都の歴史遺産 ーその保護と活用ー	京都橘大学	増淵 徹	夏季集中	18	2年目
演習・実習	京都で学ぶ人文学（つながりを問い直すコミュニティとコミュニケーション）	京都大学	松田 素二	後期	18	2年目
演習・実習	環境教育・富良野自然塾	京都学園大学	鈴木 玲治	夏期集中	18	2年目
世界遺産	特殊講義Ⅰ 「京都の文化遺産とその保護～清水地域の防災への取り組み」	立命館大学	大窪 健之	夏期集中	17	3年目
世界遺産	「お山」の魅力を探る・伝える	京都文教大学	手嶋 英貴	前期	16	4年目 (更新)
世界遺産	京都の世界遺産PBL ～上賀茂神社の魅力を学生の視点で発信する～	京都産業大学	若松 正志	通年	15	5年目
世界遺産	遺産情報演習Ⅰ (b) ～世界遺産醍醐寺プロジェクト活動をパブリック化する試み～	京都橘大学	小林 裕子	通年	15	5年目
世界遺産	特殊講義Ⅰ 「清水寺の△△(良い点)を磨け！、もしくは□□(困っている点)を救え！」	立命館大学	宗本 晋作	通年	15	5年目
世界遺産	コミュニティマネジメント特論： 世界遺産と学ぶ課題発見・解決過程	龍谷大学	笠井 賢紀	通年	15	5年目
世界遺産	世界遺産PBL科目 価値主導型に基づく文化遺産マーケティング	同志社大学	多田 実	前期	15	5年目
世界遺産	政策科学特別実習Ⅰ (京都の世界遺産 仁和寺)	立命館大学	桜井 政成	通年	15	5年目

3. 開設から3年が経過していないが、科目開設大学の都合により提供を中止する科目

該当なし

4. 開設から3年が経過し、18年度でプラザ推奨科目としての提供が終了する科目

科目区分	科 目 名	大 学	担 当 者	開始年度
講義	若者と自殺 ーいのちのリレー講座ー	京都ノートルダム女子大学	河瀬 雅紀	16
演習・実習	地域公共人材特別講座（PBL入門）*	龍谷大学	只友 景士	16

* 科目名・科目内容を変更のうえ、後継科目の新規申請があったもの

※科目区分 講義：プラザ推奨科目（講義形式） 演習・実習：プラザ推奨科目（演習・実習形式） 世界遺産：プラザ推奨科目（京都世界遺産PBL科目）

2018 年度単位互換事業出願状況の報告について

1. 概要

2018 年度の単位互換事業には、加盟校から 427 科目（前年度 435 科目）の提供があった。また、3 月 23 日から 4 月 12 日までを前期出願期間、9 月 6 日から 20 日まで後期出願期間として履修生を募ったところ、延べ 1,984 名（前年度 2,549 名）の出願があった。

2. 実績

別紙参照

3. 総括

（1）提供科目数について

2018 年度の単位互換提供科目数は、427 科目（後期 138 科目）であり、昨年度の 435 科目（後期 130 科目）から小幅ながら減少となった。昨年度と比較して科目提供数を 5 科目以上増加させている大学は、大谷大学（5 科目増）、花園大学（6 科目増）の 2 大学となった。科目提供を行っている大半の大学は、提供科目数が昨年度同様もしくは減少している状況であり、昨年度と同様の状態が続いている。このことは、2015 年度に定められた「単位互換科目の提供方針」7 項目に基づき、各大学が行っていた提供科目の精査が概ね完了し、大幅な増減はなく安定した科目提供が行われているものと考ええる。

また、2018 年度で完全終了する e-ラーニング科目は昨年度の 9 科目から 4 科目減少し、5 科目にて最終年度を迎えることになった。

（2）出願者数について

後期の出願者数は、222 名（前年度 265 名）であり、前期の出願者数と同様に減少する結果となった。個別の大学では龍谷大学（45 名減）、京都文教大学（18 名減）において目立った減少となった。

また、全出願者数は 1,984 名となり、前年度（2017 年度）2,549 名・前々年度（2016 年度）3,369 名から減少傾向は続いている。

この要因として、2017 年度の人気講座であったアニメ文化論（京都学園大学）の閉講などに加え、加盟大学においてカリキュラムポリシー等の明確化と併せて単位の実質化や質の保証が求められ、それに伴う CAP 制の導入等、加盟大学における履修制限が行われていることや、2018 年度で完全終了となる e-ラーニング科目について、基本方針にもとづき複数の科目が閉講されたことからその分の受講者層が減少したことが主たる要因といえる。

以 上

【単位互換】2018年度前後期出願者数

大学・短期大学(部)名	2018年度(前期登録)										2018年度(後期登録)										2018年度 (前期・後期)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	送出し					受入れ					提供 科目数					送出し					受入れ					提供 科目数					送出し					受入れ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	出願者数1		履修可者数		増減	出願者数2		受入学生数		増減	出願者数2		受入学生数		増減	出願者数1		履修可者数		増減	出願者数2		受入学生数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減	出願者数		履修可者数		増減</

後期出願なし

※ 受入学生数は、コンソリ学生を除く。

1. 2018 年度開講科目の科目開設補助金の支給手続きについて

2018 年 10 月 16 日付でプラザ科目・プラザ推奨科目をご提供くださっている 21 大学・短期大学へメールにて手続文書を送付しております。

【手続きのお願い】

科目運営補助金支給対象の科目がある場合は、開設科目名、支給金額に誤りがないかどうかご確認いただき、支給申請書に振込口座のご記入、ならびに学長印あるいは大学印（公印）を押印の上、**11 月 14 日（水）＜必着＞迄に本財団へご返送**いただきますようお願いいたします。

（科目運営補助金のお振込は、2018 年 12 月以降を予定しております。）

※支給対象の科目がない場合は、ご返信は不要です。

2. プラザ科目の科目開設補助金の支給基準等について（2016 年度から）

＜「プラザ科目」の支給額＞

○科目運営補助金 半期 3 万円（通期 6 万円）

○支給基準 単位互換生・京カレッジ生が 10 名以上受講していること。

3. プラザ推奨科目の補助金の支給基準等について（2018 年度まで）

対象科目	補助金名	支給額	条件	想定する用途
① プラザ推奨科目 【講義形式】	科目運営補助金	100,000 円 ※財団規程による学外講師 2 名分の謝金+交通費相当額で算出	単位互換生・京カレッジ生が 10 名以上受講していること。	学外講師の招聘にかかる準備費、学外講師・TA 謝礼、教材費、その他開設・運営にかかる経費を科目開設大学の基準で使用。
② プラザ推奨科目 【演習・実習形式】	科目運営補助金	3 年まで：100,000 円	単位互換生が 1 名以上受講していること	学外講師の招聘にかかる準備費、学外講師・TA 謝礼、教材費、その他経費を科目開設大学の基準で使用。
	活動支援補助金	3 年まで：70,000 円	教員の申請に基づき実費を支給	授業活動の必要経費の支援 ・ワークや実習で使用する消耗品費、機材等の賃借費 ・他団体・機関での実習や研修合宿などの業務委託費 ・調査・研究に必要な図書費 ・フィールドワーク等で必要な入場料・拝観料 ・成果物作成等にかかる印刷製本費
③ プラザ推奨科目 【京都世界遺産 PBL 科目】	科目運営補助金	3 年まで：100,000 円	単位互換生が 1 名以上受講していること	学外講師の招聘にかかる準備費、学外講師・TA 謝礼、教材費、その他経費を科目開設大学の基準で使用。
		20,000 円までを上限に追加交付することができる	10 万円を超えて補助金を使用する場合、TA 謝礼等として使用すること	TA 謝礼等に限る
	活動支援補助金	3 年まで：70,000 円	教員の申請に基づき実費を支給	授業活動の必要経費の支援 ・ワークや実習で使用する消耗品費、機材等の賃借費 ・他団体・機関での実習や研修合宿などの業務委託費 ・調査・研究に必要な図書費 ・フィールドワーク等で必要な入場料・拝観料 ・成果物作成等にかかる印刷製本費

※「京都世界遺産 PBL 科目」については、3 年経過後も申請することにより最長 6 年まで更新することができる。

2019 年度からの取り扱いについて、以下のとおり変更となりましたのでお知らせします。

（参考：2019 年度から）※下線部が変更点

対象科目	補助金名	支給額	条件	想定する用途
① プラザ推奨 科目 【講義形式】	科目運営 補助金	100,000 円 ※財団規程による学外 講師 2 名分の謝金+交 通費相当額で算出	単位互換生・京カレ ッジ生が 10 名以上 受講していること。	学外講師の招聘にかかる準備費、学外講師・TA 謝 礼、教材費、その他開設・運営にかかる経費を科 目開設大学の基準で使用。
② プラザ推奨 科目 【演習・実習 形式】	科目運営 補助金	3 年まで：100,000 円	単位互換生が 1 名以 上受講していること	学外講師の招聘にかかる準備費、学外講師・TA 謝 礼、教材費、その他経費を科目開設大学の基準で 使用。
	活動支援 補助金	3 年まで：70,000 円	教員の申請に基づき 実費を支給	授業活動の必要経費の支援 ・ワークや実習で使用する消耗品費、機材等の賃 借費 ・他団体・機関での実習や研修合宿などの業務委 託費 ・調査・研究で必要な図書費 ・フィールドワーク等で必要な入場料・拝観料 ・成果物作成等にかかる印刷製本費
対象科目	補助金名	支給額	条件	想定する用途
③ プラザ推奨 科目 【京都世界 遺産 PBL 科 目】	科目運営 補助金	3 年まで：100,000 円	<u>原則として</u> 単位互換 生が 1 名以上受講し ていること	学外講師の招聘にかかる準備費、学外講師・TA 謝 礼、教材費、その他経費を科目開設大学の基準で 使用。
		20,000 円までを上限に 追加交付することがで きる	10 万円を超えて補 助金を使用する場 合、TA 謝礼等として 使用すること	TA 謝礼等に限る
	活動支援 補助金	3 年まで：70,000 円	教員の申請に基づき 実費を支給	授業活動の必要経費の支援 ・ワークや実習で使用する消耗品費、機材等の賃 借費 ・他団体・機関での実習や研修合宿などの業務委 託費・調査・研究で必要な図書費 ・フィールドワーク等で必要な入場料 ・拝観料 ・成果物作成等にかかる印刷製本費

※「京都世界遺産 PBL 科目」については、3 年経過後も申請することにより最長 6 年まで更新することがで
きる。

4. 2018 年度以降の単位互換制度 e ラーニング科目の取り扱いについて

2016 年度第 2 回教育事業企画検討委員会（2016 年 11 月 4 日開催）において審議された結果のとおり
2018 年度以降の単位互換制度 e ラーニング科目については、財団における同科目群のサポート体制の状
況（費用面及び人材面）及び新規コンテンツを更新する環境が整っていない状況等を鑑み、同科目群は今
年度をもって完全に廃止することとなりますのであらためてご報告いたします。

5. 2018 年度 e 京都ラーニングの改修および moodle システムの廃止について

2018 年度にて e ラーニング科目の提供が終了することにもない、これまで主として e ラーニング科目の動画設置等に活用されていた学修支援のための moodle システムが 2019 年度以降廃止となります。e ラーニング科目以外で利用されている moodle システムの主な機能は以下のとおりとなり、2019 年度以降お使いいただくことはできません。学内の教員・事務局で moodle システムをお使いの場合は問い合わせ等がありましたら、2019 年度以降利用できない旨お知らせ願います。なお、利用頻度の多い大学におかれましては、後日財団より個別にご連絡いたします。

＜廃止になる e ラーニング以外の主な機能＞

- ・科目受講者の氏名とメールアドレスの確認
- ・授業で使用する資料のアップロード機能
- ・課題の提出と評価機能
- ・小テスト機能
- ・フォーラム機能

また、e 京都ラーニングについて 2018 年度中に一部機能の強化を検討しております。主にスマートフォン対応など学生の閲覧機能の強化や事務担当者が使用する「お知らせ機能」の強化などを検討しています。詳細については、改修が完了しましたらお知らせします。

6. 単位互換パンフレットの配布依頼について

単位互換制度をより多くの学生に利用していただけるよう、単位互換制度の紹介パンフレットを発行しています。内容については、これまで単位互換制度を利用したことのない学生を中心に京都世界遺産 PBL 科目をはじめとする単位互換の魅力や基本的な制度をお伝えするものとなっております。つきましては、新入生ガイダンスや進級ガイダンスなどで配布いただくとともに、教務窓口への設置や履修指導時の案内などについても宜しく願いいたします。

集約については先ほど議題でご依頼しましたとおりです。ご協力の程、宜しくお願い致します。

7. 出願期間の財団 Web ページでの公開について

単位互換科目への出願期間は、財団が定める期間内で各大学にて個別設定のうえ、ご報告頂いております。財団では、その出願期間に基づき財団 Web ページでの公開及び e 京都ラーニングの出願期間設定を行います。

※ 時間の設定についてご注意ください。

たとえば、「4 月 18 日 0:00 までを出願期間」と設定されますと、4 月 18 日の午前 0 時に e 京都ラーニングにおける当該大学の公開が終了いたします。（4 月 17 日で公開が終了することになります。）

8. オンキャンパス科目の教室について

例年、初回授業開始前に、単位互換科目の受講生から講義教室に関する質問が多く寄せられます。

プラザ科目については、財団 Web ページ及び掲示板に掲載しておりますが、オンキャンパス科目の講義教室は、情報の掲出場所も分からない場合が多いので、各大学におかれましては、可能な限りシラバスに記載いただき、シラバス締切後に決定する場合は e 京都ラーニングの「お知らせ機能」等で、教室情報の掲出場所や教室の場所を学生にお知らせいただきますよう、ご協力をお願いいたします。

なお、出願確定前は「お知らせ機能」によるメール送信はされません。学生の所属大学におかれましては「お知らせ機能」（掲示板）を特に留意するようお知らせください。

9. 個人情報等の管理について

各大学におかれましては、e 京都ラーニングシステム以外でも、単位互換履修生証の発行や成績など、個人情報が記載された書類や資料のやり取りをされる場面もあるかと思います。財団といたしましても個人情報の取り扱いについては引き続き留意しますので、各大学におかれましてもご協力のほど、よろしくお願いいたします。

以 上

2019 年度京カレッジ「市民教養講座開設補助費」の採択について（報告）

2018 年度第 2 回教育事業企画検討委員会（2018 年 11 月 6 日開催）において、下記のとおり、「京都力養成コース」6 大学および「教養力養成コース」2 大学・機関から申請があった合計 8 件について、2019 年度京カレッジ「市民教養講座開設補助費」の対象として採択が承認された。

■ 京都力養成コース

No.	大学名	区分	科目名
1	平安女学院大学	演習	観光資源としての中原中也 ～中原中也の足跡を辿り、詩歌で京都力を発信する～
2	放送大学京都学習センター	入門	うま味の文化と科学 ～京都の種麴屋に、和風調味料の原点をみる～
3	京都精華大学	入門	古都探訪（王朝貴族の生活） ～「みやこ」をとりまく文化・文学・歴史（平安京の誕生と発展）～
4	京都産業大学	入門	京都の経済・産業・商業に関する歴史と社会 ～多様な資料と手法によるアプローチ～
5	龍谷大学 龍谷エクステンションセンター	入門	祇園祭の起源と発展と敷衍 ～神泉苑と八坂神社と町衆の視点から祇園祭の神髄に迫る～
6	京都外国語大学	演習	ミュージアムと持続可能なコミュニティを考える ～ICOM2019 京都大会と協働するパブリック・キュレーター育成活動～

■ 教養力養成コース

No.	大学名	区分	科目名
7	明治国際医療大学	入門	季節に応じた健康養生講座 ～京都の伝統文化を楽しみながら健康で美しく生きる～
8	京都・大学ミュージアム連携	入門	モノから探る京都の大学教育のあゆみ ～大学博物館の収蔵品からみえるもの～

2018年度 生涯学習事業「京カレッジ」の出願状況報告について

1. 概要

(1) 提供科目について

以下の4分野で本財団加盟校の大学講義・公開講座を2018年度は274科目を提供した。

- ① 大学講義(A～I) 大学の正規科目で単位修得が可能な講座
 - ② 市民教養講座(J) 歴史や文化、芸術、語学、健康、社会問題など多彩な公開講座
 - ③ 京都力養成コース(K) 京都をより深く学べる特色ある講座
 - ④ 教養力養成コース(L) 市民の文化力・地域力を向上するための京カレッジ独自の講座
- ※京都学講座は京都力養成コースの中で大学コンソーシアム京都主催として開講した。

(2) 広報活動について

- ① 財団ホームページに京カレッジ案内掲載（メールフォームによる募集ガイド請求）
- ② 過年度の受講者及び資料請求者へ募集ガイドを送付
- ③ 市役所、区役所、図書館等市関係施設他、科目提供大学へ広報用にチラシを配布
- ④ 市役所、区役所、図書館等市関係施設、地下鉄各駅等へ広報用ポスター配布
- ⑤ 市役所、区役所、図書館及び加盟大学・短期大学で募集ガイドを配布
- ⑥ きょうと市民しんぶんの記事掲載
- ⑦ 京都新聞・朝日新聞・読売新聞に広告掲載
- ⑧ 広報特別企画「京を伝える女性たち（KBS京都アナウンサー 遠藤奈美氏、海平和氏）」
3月10日（土）実施（応募者406名、抽選にて来場者321名）

(3) 出願方法・受付期間

- ① 郵送：2018年3月6日（火）～17日（土）必着
 - ② 持参：2018年3月16日（金）・17日（土） 10:00～16:00で受付
- ※後期募集科目は7月18日（水）に大学コンソーシアム京都のホームページに掲載予定
郵送：2018年8月14日（火）～25日（土）必着
持参：2018年8月25日（土） 10:00～16:00で受付

(4) 科目提供大学数、提供科目数、受講科目数、出願者数

2018.11.1集計

年度	科目 提供 大学等	提供 科目数	出願 科目数	出願者数						一人あ たり併 願科目 数※2	受講 許可 者数
				＜実数＞			＜延べ数＞				
				前期	後期※1	合計	前期	後期	合計		
2018	34大学	274科目	120科目 前期115科目	773名	14名	787名	1,407名	15名	1,422名	1.8科目	1,297名
	2機関										
2017	30大学	276科目	127科目 前期121科目	1,048名	7名	1,055名	1,655名	24名	1,679名	1.6科目	1,315名
	2機関										
2016	31大学	314科目	154科目 前期149科目	812名	21名	833名	1,576名	34名	1,610名	1.9科目	1,292名
	2機関										
2015	34大学	449科目	178科目 前期174科目	809名	10名	819名	1,921名	25名	1,946名	2.4科目	1,743名
	2機関										
2014	34大学	373科目	172科目 前期159科目	698名	18名	716名	1,701名	47名	1,748名	2.4科目	1,525名
	1機関										
2013	36大学	428科目	194科目	506名	16名	522名	1,074名	40名	1,114名	2.1科目	－
	1機関										
2012	36大学	469科目	228科目	596名	18名	614名	1,265名	62名	1,327名	2.1科目	－
	1機関										

- 単位互換提供科目数と同様、ガイドラインに基づいた科目提供により科目数は昨年度とほぼ同じ。
- 出願者数について、京都学講座が昨年度より284人減となり、実数・延数ともにその分影響を受けた。
幼保特例プログラムは開始した2014～15年度は出願者数が増となったが同プログラムの出願が減少している。京都学講座のみ出願が減少したことから平均併願科目数が微増となった。

※1 前期に出願していない新規の方のみの数字

※2 一人あたり併願科目数＝出願者数＜延べ数＞合計÷＜実数＞合計

(5) 出願者の年代

年代	男性	女性	合計	割合	2017年度
20代以下	0	0	0	0.0%	0.1%
20代	2	5	7	0.9%	1.1%
30代	5	19	24	3.0%	2.8%
40代	11	37	48	6.1%	8.0%
50代	39	69	108	13.7%	11.8%
60代	181	162	343	43.6%	47.1%
70代	130	102	232	29.5%	25.5%
80代以上	17	8	25	3.2%	3.5%
合計	385	402	787	100.0%	100.0%

○昨年度同様に男女とも60代の出願者が最も多く、全体の43.7%を占めている。
70代が増加傾向にあり、60代とあわせると全体の73.1%となる。

(6) コース別出願状況

分野	提供科目数		出願のあった科目		出願者数(人)		2017年度 出願者 人数(割合)
大学講義(A～I)	231	84.3%	93	77.5%	401	28.2%	450(26.8%)
(上記のうちeラーニング科目)	(1)	－	(0)	－	(0)	－	－
市民教養講座(J)	35	12.8%	19	15.8%	286	20.1%	152(9.1%)
京都力養成コース(K)	7	2.6%	7	5.8%	706	49.6%	1038(61.8%)
教養力養成コース(L)	1	0.4%	1	0.8%	29	2.0%	39(2.3%)
合計	274	100.0%	120	100.0%	1422	100.0%	1679(100%)

- 提供科目の84.3%(231科目)が大学講義だが、内出願しているのは半数以下の93科目で、出願者は全体の28.2%で昨年度より割合は微増となった。
- 市民教養講座(J)は今年度は新規に明治国際医療大学より健康分野に5科目の提供があり、出願者数が2倍近く増加した。
- 京都力養成コースは京都学講座をはじめ全講座に出願があり、延人数は減少したものの、全出願者の49.6%を占めた。

（7-1）京都力養成コース出願状況

科目名	提供大学・機関	定員	出願者数	受講許可者数	定員に対する出願者率
京都学講座【午前コース】 京都で生まれましてん ～みやこ発祥の文化～	大学コンソーシアム京都	250	326	275	130.4%
京都学講座【午後コース】 京都で生まれましてん ～みやこ発祥の文化～	大学コンソーシアム京都	250	184	234	73.6%
観光資源としての中原中也 ～中原中也の足跡を辿り、詩歌で京都力を発信する～	平安女学院大学	15	12	12	80.0%
祇園祭を五感で楽しむ ～鉾町の風情:今昔～	龍谷大学	20	43	20	215.0%
京都の宗教をめぐる歴史と社会 ～多様な資料と手法によるアプローチ～	京都産業大学	30	79	35	263.3%
京都に息づく伝統文化と芸術 ～茶道から広がる世界をコミュニケーション学の視点を付加して学ぶ～	放送大学	20	54	20	270.0%
ミュージアムと地域を繋ぐキュレーター育成講座 ～ICOM-KYOTO2019と協働する市民活動に向けて～	京都外国語大学	10	8	8	80.0%
合計		595	706	604	118.7%

- 本コースは特に市民の関心が高い京都関連をテーマにした京カレッジ生用として財団が補助金を支給し、開講している。
- 全体で595名定員に延人数706名の出願があり、例年どおり高い人気となっている。
（昨年度は定員635名に1036名が出願）
- 「京都学講座」について、本講座は午前・午後コースに分かれており、出願者数は第1希望者数。受講許可者数は第2希望者を含んでいる。

（7-2）教養力養成コース出願状況

科目名	提供大学・機関	定員	出願者数	受講許可者数	定員に対する出願者率
「知の宝庫」としての大学ミュージアム ～京都・大学ミュージアム連携のお宝紹介～	京都・大学ミュージアム連携	20	29	21	145.0%
合計		20	29	21	145.0%

- 本コースは2017年度より開講。

(8) 幼保特例プログラム科目への出願状況

科目名	提供大学	定員	出願者数	受講許可者数	定員に対する出願者率	2017年度出願者数
保育者論	大谷大学短期大学部	110	28	28	25.5%	25
教育制度論（日本国憲法を含む）	大谷大学短期大学部	110	24	24	21.8%	30
保育臨床相談	大谷大学短期大学部	110	28	28	25.5%	27
保健と食と栄養	大谷大学短期大学部	110	8	8	7.3%	11
教育課程論	京都光華女子大学	100	24	24	24.0%	31
乳児保育	京都光華女子大学	50	10	10	20.0%	6
保育内容指導法	京都西山短期大学	110	26	26	23.6%	28
福祉と養護	京都西山短期大学	110	9	9	8.2%	7
相談支援	京都ノートルダム女子大学	110	10	10	9.1%	5
合 計		920	167	167	18.2%	170

○「幼稚園免許状又は保育士資格取得のための特例制度」に基づく特例講座として2014年度から開講している。2019年度末にて閉講予定。

○開始初年度の2014年度は854名の出願があった。対象となる母数の減少が考えられ出願数も減少傾向にある。

2015年度 546名(308名減) 2016年度 334名(212名減) 2017年度 170名(164名減)

(9) 各大学の科目提供数と出願状況

(かな順)

大学名	大学講義	公開講座	計	出願科目	出願者数	出願率※	2017年度出願率
池坊短期大学	1	0	1	1	4	100.0%	33.3%
大阪医科大学	0	0	0	0	0	—	—
大谷大学	9	0	9	6	13	66.7%	80.0%
大谷大学短期大学部	5	0	5	4	88	80.0%	83.3%
華頂短期大学	1	0	1	1	6	9.0%	100.0%
京都外国語大学	0	1	1	1	8	100.0%	100.0%
京都外国語短期大学	0	0	0	0	0	—	—
京都学園大学	3	1	4	2	5	50.0%	50.0%
京都華頂大学	1	0	1	0	0	0.0%	—
京都教育大学	11	4	15	12	63	80.0%	64.3%
京都経済短期大学	0	0	0	0	0	—	—
京都光華女子大学	19	0	19	6	38	31.6%	47.1%
京都光華女子大学短期大学部	0	0	0	0	0	—	—
京都工芸繊維大学	2	0	2	2	3	100.0%	50.0%
京都産業大学	11	1	12	4	84	33.3%	25.0%
京都女子大学	0	0	0	0	0	—	—
京都市立芸術大学	17	2	19	1	1	5.3%	11.1%
京都精華大学	0	1	1	1	10	100.0%	—
京都西山短期大学	3	0	3	2	35	66.7%	100.0%
京都造形芸術大学	10	2	12	12	76	100.0%	100.0%
京都大学	0	0	0	0	0	—	—
京都・大学ミュージアム連携	0	1	1	1	29	100.0%	100.0%
京都橘大学	12	7	19	9	102	47.4%	62.5%
京都ノートルダム女子大学	11	0	11	3	12	27.3%	46.7%
京都美術工芸大学	1	0	1	1	3	100.0%	100.0%
京都府立医科大学	0	0	0	0	0	—	—
京都府立大学	6	0	6	0	0	0.0%	—
京都文教大学	15	0	15	0	0	0.0%	5.3%
京都文教短期大学	1	0	1	0	0	0.0%	—
京都薬科大学	2	0	2	2	3	100.0%	50.0%
嵯峨美術大学	1	0	1	1	1	100.0%	—
嵯峨美術短期大学	0	0	0	0	0	—	—
種智院大学	4	0	4	2	22	50.0%	100.0%
成安造形大学	0	0	0	0	0	—	—
大学コンソーシアム京都	0	2	2	2	510	100.0%	100.0%
同志社女子大学	11	0	11	4	9	36.4%	45.5%
同志社大学	12	0	12	9	13	75.0%	61.5%
花園大学	2	0	2	1	1	50.0%	100.0%
福知山公立大学	0	0	0	0	0	—	—
佛教大学	3	0	3	2	5	66.7%	33.3%
平安女学院大学	8	1	9	2	13	22.2%	9.1%
平安女学院大学短期大学部	0	0	0	0	0	—	—
放送大学(京都学習センター)	0	1	1	1	54	100.0%	100.0%
明治国際医療大学	0	5	5	5	143	100.0%	—
立命館大学	14	13	27	8	13	29.6%	23.3%
龍谷大学	31	1	32	11	54	34.4%	51.9%
龍谷大学短期大学部	4	0	4	1	1	25.0%	50.0%
早稲田大学	0	0	0	0	0	—	—
合計	231	43	274	120	1422		

※ 出願科目数／開講科目数

(10) 「大学リレー講座」の実施について

大学リレー講座は、各加盟校の特色を生かした市民講座の一部を、増加傾向にある京カレッジ生を主たる対象に、キャンパスプラザ京都を会場にして、各校の特色をリレー形式でアピールし、各校の生涯学習事業への新規受講者に繋げることを目的とした教養講座（受講料無料）。事前申込は不要。2018年度は10大学10講義の開講し、1回平均140以上の受講者を目標とする。2018年度も各大学はシニア層の多い京カレッジ利用者の関心度の高い京都学、宗教、歴史、文学、健康のテーマで、各大学の教育研究の特色や事業のPRを行っている。受講者数は毎回平均212名（全10回のうち、6回までの数値）と、前年度146.3名から大幅に増え、本講座が広く市民に認識されてきたと考える。

日程	時間	大学	テーマ	講義テーマ・参加の背景	受講者数
5/26	13:30-15:00	花園大学	ブッダの生涯とその思想	著名教授による文学部仏教学科をはじめとする教育研究の特徴発信	279
6/9	13:30-15:00	京都精華大学	現代の文学と〈物語〉の力 ～谷崎潤一郎・「源氏物語」・村上春樹～	京都精華大学の教育研究の特徴を発信	202
7/28	13:30-15:00	大谷大学	本願との出遇い ～親鸞を通して～	文学部真宗学科をはじめとする大学の教育研究の特徴を発信	155
8/25	13:30-15:00	龍谷大学	はじめて学ぶ日本仏教	大学の教育研究の特徴と生涯学習講座の発信	271
9/15	13:30-15:00	明治国際医療大学	元気で楽しく生活するための東洋医学の知恵 ～季節に応じた養生生活とは？～	鍼灸学部と附属鍼灸センター他、大学の教育研究の特徴と生涯学習事業を発信	202
10/6	13:30-15:00	京都文教大学	たら、れば、まちづくり ～景観の中に京都の歴史を読む～	大学の教育研究の特徴を発信	163
10/20	13:30-15:00	同志社女子大学	みやこの歴史的災害 ～その地域的特質と課題～	大学の教育研究の特徴を発信	151
11/3	10:00-11:30	京都府立医科大学	聞く、話す、飲む ～健康のためにその仕組みを学ぶ～	学長による大学の教育研究の特徴と生涯学習講座の発信	216
12/22	13:30-15:00	京都橘大学	熊野学講座 2018 熊野信仰と熊野那智大社 中世における熊野参詣	大学の教育研究の特徴と生涯学習講座を発信	
1/12	13:30-15:00	京都ノートルダム女子大学	転ばぬ先の杖は、転ぶこと！？ ～これからの健康づくり～	大学の教育研究の特徴と生涯学習講座を発信	

全て土曜日開講で、会場は第2講義室（定員250名）で実施する。

(11) 今後の課題について

今後、大学は18歳を中心とする人口層だけでなく、社会人の継続的な学び「リカレント教育」への対象拡大が急務となっている。これは近年、産業イノベーションに必要な個人と企業の能力開発を促進することを含めた政府方針「働き方改革」などの社会的要請ともなっている。財団として、社会人・職業人の継続的な学びにおける大学教育の役割を考え、加盟校によるリカレント教育の積極的な取り組みを促進する事業案を検討する

以上

2018年度京カレッジ大学リレー講座の中間総括と2019年度の開講について（報告）

2016年度にパイロット事業として京カレッジ大学リレー講座を開始し、2017年度より正式事業として実施し、3年目となった。実施期間は来年1月までだが、11月より2018年度の事業に向けて加盟校へ募集広報を行いたく、本実施状況を中間的に総括し、2019年度の実施要項を報告する。

1. 2018年度の実施状況について

(1) 参加大学（10大学）と10講座の開講内容、受講者数 【別紙①】

(2) 本年度実施にむけた改善点・変更点

- ① 開始年度の2016年度はパイロット事業としてスタートしたこともあり、1回あたりの受講者数は50～80名という状況であったが、昨年度の2017年度より正式事業として広報を充実させ、1) チラシ・ポスターを京都市の区役所・支所、図書館、各種文化・教育関係施設、生涯学習コーナー等約60か所に、2) 講座参加大学からチラシ配布を行い、3) 京カレッジ出願者実数約1000名と、特に京都学講座受講者・受講不許可者約500名を超える市民への情報提供、HP・キャンパスプラザ京都内掲示、毎月の「市民しんぶん」（京都市発行）とあわせた広報を行っている。
- ② 大学への講座提供依頼の際に受講層の特徴や期待されるテーマ、分野についての情報提供と広報時の講座名や説明内容へのアドバイスに注力した。

(3) 受講者数およびアンケートからみた受講者状況（ただし全10回講座の内6回までの実施状況）

① 受講者数

広報強化と3年目の認知度向上がすすみ、1講座あたりの受講者数は平均212名（2016年度同時期平均60.8名、2017年度146.3名）と順調に増加し、常に会場が満席に近い状況となった。

② 受講者年齢層・男女状況

講義テーマ等により異なるが、概ね60才代（4割強）、70才代（4割弱）が中心の年齢層であることは変わらないが、30～50歳代が13.0%（2017年度8.7%）と増加し、年齢層も広がってきている。また、トータルの男女比は男52.8%、女40.0%だが、文学と健康は女性の参加が多い。

③ 受講者の住まい

概ね半数は京都市内だが、京都府外15%から35.2%（2017年度）と増加している。

④ 大学リレー講座への参加状況

講座によるが各講座の受講者の3割から5割が2018年度における初めての受講で、2～3回目が次に多い。

⑤ 大学リレー講座以外の生涯学習受講経験状況

2018年度も当日の講座担当大学他講座の受講経験は平均11.1%であり、このことから講座担当大学の講座を過去に受けたことが無い参加者が8割強と多く、新たな層へのPR効果は高いと考えられる。

⑥ 各講義の理解・講師や学習への満足度

概ね「理解できた」「どちらかといえば理解できた」、「満足」「どちらかといえば満足」が8割以上である。また毎回半数以上が記述式コメントに積極的に意見を記載していることから熱心な受講態度がうかがえる。

⑦ 今後受講してみたいテーマについて

関心度が高いと思われるのは、京都に関すること、宗教（仏教以外を含む）・哲学・心理学や生き方について他、歴史・文学・文化・芸術、生活（食、健康、防災）、社会（法律、マスメディア、国際政治）、産業（伝統産業）、京都に関することなどだが、自然科学系（化学、農学、薬学、医学）への要望も多数あった。各大学が色々なテーマで実施することについては概ね参加者の期待どおりと言える。

以上の受講者アンケートからわかることについて、これまで各大学の市民講座等の受講経験がない層へのPRになっていること、また受講者は学習意欲が高いこともあり概ね各講義への満足度は高く、分野も仏教はもとより他を含む京都に関すること、宗教・哲学・歴史・文学・健康は特に関心が高いものの、自然科学を含めて幅広い分野での各大学の特徴ある教養講座の実施が期待されている。

(4) 各大学からの実施報告書からのコメントより

① 参加の目的について

生涯学習講座の受講案内や各種イベントの広報の他、大学の魅力をPRし市民の認知度を上げる目的での活用が多い。年々増加する京カレッジ生、会場の立地、無料・申込不要の中で、通常で各参加大学が集客するより多くの受講者数となっている。

② 参加者層については、普段の大学で実施する講座も高齢者層が多くなっている傾向があるため、年齢層は基本的に変わらない様子であるが、京都駅から遠距離の大学の場合は若者を含めての参加が多い印象を持っている。

③ 全参加大学からキャンパスプラザ京都の立地と講義施設については良い点としていただいた。今後に向けてより若い層へのアピールの希望が出てきている。

※ 以上の他、大学リレー講座への参加が文部科学省による 2017 年度から始まった補助金「私立大学等改革総合支援事業（タイプ 5）」の申請に活用できることから、今後の参加大学の増加は期待される。

2. 2019 年度にむけた実施方針について

これらの状況から、加盟大学が生涯学習事業や大学の魅力を市民にアピールするために、自らの特色ある分野の教養講座をリレー形式で実施するこの方法は、今後も学習意欲の高い市民を対象とした学習の場の提供と、各大学が行う生涯学習事業や大学活動の認知度向上に効果があると考え、2019 年度も継続実施する。
実施にあたっては以下の考え方で、別紙の実施要項にて行う。

(1) 基本的な考え方

- ① 実施日は京カレッジ生が他大学講座他との兼ね合いで比較的参加し易いとする土曜日で継続し、京都学講座講義日や他財団事業と重ならないよう指定した日を基本に募集する。
- ② 参加しやすい環境をつくることから無料および事前申込なしとする。そのため、会場は 250 名以上の定員教室を基本とする。
- ③ 広報は、京カレッジ生募集ガイドと同様に、広報チラシを市役所関係施設、開講大学、プラザフロア、京都学講座等各講座での自由配布を行い、財団 HP と市民しんぶんへの各月掲載を行う。
- ④ 講義開始時間について、受付準備時間の確保のため、13：00 受付開始、13：30 講義開始、終了 15：00 の 90 分を基本とする。
- ⑤ 受講者アンケートについて、講座担当大学が希望すれば受講者から連絡先等の情報が得られるよう様式を変更できる。
- ⑥ 司会進行は講座実施大学が行う中で、自大学の PR を行える。
- ⑦ 年度を通してリレー講座中に当該年度講座参加大学が行う各種イベント等の資料を自由配布できる PR コーナーを設置する。
- ⑧ 当日講座の運営は開講担当大学が行い、その実施補助制度として、キャンパスプラザ京都施設使用料（会場・機材含む）は免除とし、講師料他運営経費補助として 21,137 円を開講大学へ財団より支給することとする。

以上

【別紙①】

2018年度大学リレー講座の実施状況

回	講座日	開講大学	テーマ	担当教員	人数
1	5/26	花園大学	ブッダの生涯とその思想	佐々木 閑	279
2	6/9	京都精華大学	現代の文学と〈物語〉の力 ～谷崎潤一郎・「源氏物語」・村上春樹～	西野 厚志	202
3	7/28	大谷大学	本願との出遇い ～親鸞を通して～	藤嶽 明信	155
4	8/25	龍谷大学	はじめて学ぶ日本仏教	野呂 靖	271
5	9/15	明治国際医療大学	元気で楽しく生活するための東洋医学の知恵～季節に応じた養生生活とは？～	伊藤 和憲	202
6	10/6	京都文教大学	たら、れば、まちづくり ～景観の中に京都の歴史を読む～	小林 大祐	163
7	10/20	同志社女子大学	みやこの歴史的災害 ～その地域的特質と課題～	天野 太郎	151
8	11/3	京都府立医科大学	聞く、話す、飲む ～健康のためにその仕組みを学ぶ～	竹中 洋	216
9	12/22	京都橘大学	熊野学講座 2018 熊野信仰と熊野那智大社 中世における熊野参拝	男成 洋三 野田 泰三	
10	1/12	京都ノートルダム女子大学	転ばぬ先の杖は、転ぶこと！？ ～これからの健康づくり～	住本 純	

開講時間：土曜 13：30～15：00 会場：第2講義室（定員 250 で広報）

大学コンソーシアム京都

単位互換・京カレッジ事務担当者 各位

2019 年度 ^{みやこ}京カレッジ「大学リレー講座」実施要項

公益財団法人大学コンソーシアム京都

実施目的

大学リレー講座について、学習意欲の高い市民を対象とした学習の場の提供と、各大学が行う生涯学習事業や各種の特徴ある教育研究活動への市民の関心を高めることで、市民の学習機会の拡大と加盟大学の生涯学習事業の発展に繋がることを目的に実施する。方法は、多くの市民が関心に応じて気軽に参加できるリレー形式の講座とする。

対象は、京カレッジを利用する学習に意欲的な 60～70 才代を中心とした市民層が中心であり、アンケート等から、期待されているテーマは京都に関する全体他、宗教・哲学・歴史・文学・文化や伝統産業に関わること、また東京オリンピックの開催に向けてスポーツや健康・医療・食・生活に関わること、話題となっている世界情勢や社会の動き、また自然科学に関することが挙げられる。これらを参考に、各大学より市民に PR したい公開講座等の生涯学習事業や、各大学の教育研究に係る特色あるテーマでの講義を提供していただきたい。

(1) 講座の運営

各大学の事務局と講師にて運営を行う。財団は当日の講義機材や受付の準備サポート等を行う。

(2) 内容

テーマは任意とし、各大学の得意分野、特に PR したい最近の取組みに係るテーマでの教養講座の提供をいただきたい。1 大学で 2 講座までの申請を可とする。

(3) 開講期間・時間帯・会場

2019 年 5 月から 2020 年 2 月の間で別表の講義実施可能日の開講とする。時間は土曜日の 13:30～15:00（受付開始 13:00）の 90 分講義を基本とする。会場はキャンパスプラザ京都 4 階 第 2 講義室（定員 289 名）を予定する。

(4) 参加申込方法・受講料

事前申込は不要、受講料は無料とする。

(5) 運営経費補助

キャンパスプラザ京都施設使用料（会場・機材含む）は免除とし、講師料他運営経費補助として 2018 年度同様の 21,137 円を開講大学へ財団負担で支給することとする。実施後の担当大学からの実施報告書（様式有）の提出を受けて補助金の支払いを行う。

(6) 財団による広報

本財団・京都市より、学習意欲の高い市民が情報を求めて来訪する京都市施設の生涯学習コーナー、市民しんぶん、財団 HP 等で、京カレッジガイドブック、チラシ等を含めて広く広報する。あわせて講座実施大学他へ、大学が実施する生涯学習講座参加者へのチラシ配付等の協力を依頼する。

(7) 大学リレー講座への応募方法・締め切り

別紙「参加申込書」を作成し、財団事務局へ提出。締め切りは【2018 年 12 月 11 日（火）】

(8) 採用件数

10 件（申請がこの件数を超える場合は、新規申請大学、先着順、1 大学 1 件を優先事項に採用する。）

(9) 留意事項

申請には、他各種企画との日程調整上の理由より、第 1 候補日～第 3 候補日までの記載をお願いいたします。また、施設上の都合等から実施可能日、会場について一部変更することがあります。

(10) その他

- ① 講義資料は担当大学にて基本 200 部を準備するとし、状況で増刷を依頼する。万一当日不足した場合は財団も追加印刷に協力する。余った場合は財団で預かり講座以降で希望する市民に配付する。
- ② 当日は各大学による取り組んでいる生涯学習事業他の広報を可とする。司会進行原稿は基本形のフォーマットを財団で用意し、内容にあわせて担当大学で作成する。
- ③ 受講者アンケート様式は統一的なフォーマットを財団で用意し、担当大学が今後の生涯学習講座等の資料を送付するために氏名・連絡先の記入を可能とする項目を追加する他、担当大学の希望する項目を調整し財団で用意する。
- ④ 財団は担当大学のイベントチラシ・パンフレットを随時預かり、実施年度の毎回の大学リレー講座時に受講者への自由配布を行う。

(11) 参加申請様式

別紙のとおり「参加申込書」にて申請する。

以 上

2019 年度大学リレー講座 実施可能日

※すべて土曜日で講義時間 13：30～15：00（受付開始 13：00）

5 月	25 日
6 月	1 日もしくは 8 日のどちらか
7 月	13 日
8 月	24 日
9 月	28 日
10 月 11 月	10 月 5 日か 10 月 12 日のどちらか 10 月 26 日か 11 月 2 日のどちらか 11 月 9 日
12 月	7 日
1 月	18 日
2 月	9 日

注) 上記は施設上の都合等から実施可能日と会場についてやむを得ず一部変更することがあります。
ご了承ください。

【参加票申請先、問い合わせ先】（窓口受付 火～土 9：00～17：00）
公益財団法人 大学コンソーシアム京都 教育事業部（京カレッジ担当）
〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下ルキャンパスプラザ京都
TEL：075-353-9140 FAX：075-353-9121 E-mail：tg@consortium.or.jp

申込日： 年 月 日

2019 年度 京カレッジ 大学リレー講座参加申込書

【提出締切 12/11（火）】

京カレッジ大学リレー講座に下記のとおり講座提供を希望します。

大学名			
講座タイトル※1			
講座の概要※2 (100 字～120 字 の間に作成)			
講 師	所属・役職		
	氏 名		
事務担当者 連絡先※3	部署名		
	担当者氏名		
	電話番号		
	E メール		
希望日 他、連絡事項※4	第 1 希望	第 2 希望	第 3 希望

- ※1 市民にわかりやすい講座タイトル（主題・副題）をつけてください。
- ※2 講座を計画する現在の内容をお書きください。案内誌等に掲載しますので、市民にわかりやすく、関心を高めるような内容をお願いします。ガイドに掲載する文章の校正を来年1月をお願いする予定です。
- ※3 今後の事務連絡先についてお書きください。
- ※4 要項「講座実施可能日」の中から希望日を選んで第3希望までご記入ください。実施可能日以外の日程希望やその他財団への連絡事項があればお書きください。
- ※5 2つの講座の開講を希望する場合は本様式を2つ作成し、「講座タイトル」に「第1希望」がどちらかわかるよう記載してください。

<申し込み先> メールまたはFAXで応募してください。

大学コンソーシアム京都 京カレッジ担当 TEL：075-353-9140

Eメールの場合：tg@consortium.or.jp / FAXの場合：075-353-9121

受付印	受取印	備考
-----	-----	----

2018年度大学リレー講座 受講者アンケートより

分野	受講してみたいテーマ等
医療	京都大（未来学、IPS細胞研究）
医療	日本の医療についても考える講座が必要か
京都	京都の争い
京都	京都の文化を是非お願いします。
京都	・ 京都の三大祭の成り立ち(意義) ・ 平安時代から江戸時代までの京都に都が置かれていた間の京の町の変化
京都	京都についての日本史
京都	京都の今と昔を色々教えてください。
京都	京都の事もっといろいろ勉強したいと思います。
京都	京ことば、御所ことばについて受講したいです。
京都	京都の祭り、今後の景観づくりについて
京都	京都にある企業の成り立ち
京都	何かに絞った京都の歴史があればよいもともとの平安京都の景観はどんなものだったのだろう？
京都	京都周辺の山々の歴史
京都	歴史ある京都に関するものであれば仮に複数回のテーマでも興味ある。何回でも受講したいと思う。
京都	京都と宗教の関係歴史特色など
京都	京都検定対策の講座を無料で
京都	京都学
芸術	世界の音楽（オペラを主とする）に関係する時代背景などの講座
芸術	クラシック音楽の歴史と作曲者の系譜など
芸術	美術史についての講座をお願いします。
芸能	芸能関係特に能楽を中心としたもの
健康	人生100歳時代に入り健康長寿を一人でも多く実現するために必要な学びを期待します。
健康	老年の健康
健康	健康についての講座をしてほしい。
健康	セルフつぼ（経穴）刺激講座、東洋医学（中医学）の歴史講座など
健康	運動機能維持（向上）策、栄養学
こころ	心理学
こころ	哲学
こころ	心理学や生きがいに関するテーマ
こころ	心の在り方、生き方について
こころ	臨床心理、心理療法
こころ	古代哲学（ギリシャ・中国・インド仏教）について
こころ	宗教・哲学・思想関係
自然	山のことをもっと知りたい
自然	最新版「地球をとりまく環境」（物理的・生物学的アプローチ）

2018年度大学リレー講座 受講者アンケートより

分野	受講してみたいテーマ等
自然	生物学、植物学、動物学
自然	植物学、生態学
自然	山の下り方。
社会	朝鮮半島と日本のつながり
社会	「天皇」について
社会	社会科学系の講座があれば
宗教	「仏教」がなぜ現在の「日本仏教」「葬式仏教」に変質したのか
宗教	引き続き釈迦の教えを学ばせて頂きたいです。
宗教	天台宗の就いての講座と律に就いての講座。海外の禅や海外の仏教の違いに就いても興味があります。
宗教	原始仏教。悟りの内容、方法、階梯など
宗教	仏教やお寺、仏像のこと
宗教	日本古来の神道と仏教について仏教の日本における各宗派の違いについて
宗教	各仏教の講義とその内容の比較
宗教	仏教各宗派の違い
宗教	仏像についての講義があればよいと思う。
宗教	仏典の解説
宗教	親鸞の生涯の概略をテーマとした物（例）建永の法難、越後配流、関東での布教、妻帯など
宗教	日本人の信仰の流れを、歴史的に教えていただければと思います。（縄文時代から現代）
宗教	考古学、仏教
宗教	「開教セミナー」隋唐の仏教と社会、西鶴「胸算用」おさらい「紫明」龍樹の生涯インド仏教と日本の仏教
宗教	キリスト教のプロテスタントの教え方と類似性があるように思う。キリスト教の比較（類似、異なること）の話
宗教	日本仏教各宗派の歴史的変遷（特に浄土真宗）
宗教	仏教の種類、歴史の中での変遷など。
宗教	仏像にしたテーマ、健康にしたテーマ
宗教	原始仏教、哲学一般等々
宗教	鎌倉仏教と旧仏教（顕密仏教）？
宗教	空海について学びたい
宗教	インド中国などにおける仏教の歴史
宗教	高野山・東寺・四国八十八寺・西国
宗教	浄土真宗の歴史
趣味	書道に関する講義
食	食、自然など
生活	社会科学系の講座があれば受講してみたい。
生活	原子力発電・太陽光発電・風力発電のコスト

2018年度大学リレー講座 受講者アンケートより

分野	受講してみたいテーマ等
生活	生老病死との向き合い方、乗り越え方など
生活	これからのお墓の在り方引き継ぎ方・時代とともに
生活	生き方、死に方について学びたいと思います。
生活	暦と生活 気圧と身体
政治	現代政治の問題点に関するもの
美術	哲学、美術史
美術	文学・美術に関するテーマに関心があります。
文化	いけばなの中に見る日本文化。
文化	民族誌
文化	考古学系、宗教学（仏教だけでなく）、民俗学に興味あります。
文化	書道や古文書について学びたい
文化	日本の幽霊像と日本人の精神文化の結び付き、仏教・神道・日本の宗教と日本の幽霊像との結び付き
文学	平安文学、明治文学、講座あればうれしく思います。
文学	源氏物語、平家物語講座も希望いたします。
文学	古典文学を解りやすくお話して頂きたいと思います。
文学	源氏物語（1回ぽっきりでなく、さまざまな源氏物語論などをシリーズものとして聴講してみたい）
文学	「枕草子」「源氏物語」他。若い先生の話は新鮮でよいです。
文学	「源氏物語」をくわしく
文学	平家物語の講座を希望します
文学	哲学文学
文学	平安文学・明治文学
法律	法律系、相続とか成年後見とか
歴史	室町時代の歴史
歴史	平安京の歴史について
歴史	長屋王の変、藤原仲麻呂（恵美押勝）の乱など奈良朝の政変
歴史	歴史シリーズを続けてほしい
歴史	京都の歴史講座を増やしてほしい
歴史	南北朝時代・源平合戦歴史をわかりやすく詳しくエピソードを交えて語り聞かせていただけるような講座。日本開国時の外国人の商売や技術的貢献について詳しく知れるような講座
歴史	古代の歴史
歴史	京都の歴史
歴史	日本史アジアの歴史京都に関すること。現在の歴史の情勢教育に関すること
歴史	応仁の乱

大学リレー講座開講一覧

2016年度

大学名	講座名	担当教員	開催日
龍谷大学	“かおり”で会話する生き物たち	塩尻 かおり(農学部 講師)	5月28日(土)
京都工芸繊維大学	京の伝統的発酵食品とピンピンコロリ型健康長寿社会	井沢 真吾(工芸科学研究科 応用生物学系 准教授)	6月18日(土)
大谷大学	宗教と心理学の違いー特に仏教の視点を中心として	新田 智通(文学部 仏教学科 講師)	7月16日(土)
京都嵯峨芸術大学	重要無形民俗文化財「嵯峨大念佛狂言」を楽しむ	芳野 明(芸術学部 教授)	9月17日(土)
京都精華大学	「人文学の世界・人は何のために生きていくのか」	ウスビ・サコ(人文学部 教授)	10月15日(土)
京都橘大学	京の都から発信する。京の都の災いの払いかたーそのとき、あなたはどしはりますか？ー	西本 泰久(健康科学部 救急救命学科 教授、他)	11月5日(土)
池坊短期大学	いけばなに見る日本美・他国にみない日本人の美意識-	土屋 郁剛(文化芸術学科 教授)	12月17日(土)
京都産業大学	‘重さ’を見る天文学	米原 厚憲(理学部 教授)	2月18日(土)

2017年度

大学名	講座名	担当教員	開催日
京都外国語大学	京都を訪れる外国人とのコミュニケーションの取り方	ジェフ バークランド(外国語学部 教授)	5月27日(土)
大谷大学	仏像が語りかけてくるものー地域の歴史を探るー	齋藤 望(文学部 歴史学科 教授、大谷大学博物館長)	6月10日(土)
龍谷大学	道としての仏教ー幸せに気づくための仏教入門ー	杉岡 孝紀(農学部 教授)	7月15日(土)
嵯峨美術短期大学	ユニバーサルデザインー誰もが暮らしやすい社会をめざしてー	坂田 岳彦(美術学科 教授、短期大学部長)	8月5日(土)
京都精華大学	文学と表現の自由ー谷崎潤一郎の現代語訳「源氏物語」と「細雪」を中心にー	西野 厚志(人文学部 専任講師)	9月9日(土)
京都学園大学	いくつになっても遅くない身体づくり・体力づくり	木村 みさか(健康医療学部 教授)	9月30日(土)
京都文教大学	学生・市民が力を合わせるまちづくりー宇治のまち・宇治茶の取組の事例からー	森 正美(総合社会学部 教授)	10月7日(土)
平安女学院大学	奈良時代の京都	毛利 憲一(国際観光学部 教授)	11月11日(土)
京都学園大学	食品の持つ生体調節機能を基にしたトクホ・機能性表示食品の開発	藤田 裕之(バイオ環境学部 教授)	11月25日(土)
京都市立芸術大学	アート×ケア＝独りよがりとお節介？	高橋 悟(理事、美術学部 構想設計専攻 教授)	1月27日(土)
京都女子大学	辞典の中の親鸞聖人ー聖人を慕う心ー	黒田 義道(発達教育学部 准教授)	2月10日(土)
京都産業大学	‘重力のレンズ’で見る宇宙	米原 厚憲(理学部 宇宙物理・気象学科 教授)	2月17日(土)

2018年度

大学名	講座名	担当教員	開催日
花園大学	ブッダの生涯とその思想	佐々木 閑(花園大学 文学部 仏教学科 教授)	5月26日(土)
京都精華大学	現代の文学と〈物語〉の力ー谷崎潤一郎・「源氏物語」・村上春樹ー	西野 厚志(京都精華大学 人文学部 専任講師)	6月9日(土)
大谷大学	本願との出会いー親鸞を通してー	藤嶽 明信(大谷大学 文学部 真宗学科 教授)	7月28日(土)
龍谷大学	はじめて学ぶ日本仏教	野呂 靖(龍谷大学 文学部 仏教学科 准教授)	8月25日(土)
明治国際医療大学	元気で楽しく生活するための東洋医学の知恵ー季節に応じた養生生活とは？ー	伊藤 和恵(明治国際医療大学 鍼灸学部 はりきゅう学講座 教授・附属鍼灸センター長)	9月15日(土)
京都文教大学	たら、れば、まちづくりー景観の中に京都の歴史を読むー	小林 大祐(京都文教大学 総合社会学部 専任講師)	10月6日(土)
同志社女子大学	みやこの歴史的災害ーその地域的特質と課題ー	天野 太郎(同志社女子大学 現代社会学部 教授)	10月20日(土)
京都府立医科大学	聞く、話す、飲むー健康のためにその仕組みを学ぶー	竹中 洋(京都府立医科大学 学長)	11月3日(土)
京都橘大学	熊野講座2018「熊野信仰と熊野那智大社」	男成 洋三(熊野那智大社 宮司)	12月22日(土)
	熊野講座2018「中世における熊野参詣」	野田 泰三(京都橘大学 文学部 歴史学科 教授)	
京都ノートルダム女子大学	転ばぬ先の杖は、転ぶこと！？ーこれからの健康づくりー	住本 純(京都ノートルダム女子大学 現代人間学部 こども教育学科 専任講師)	1月12日(土)

2020 年度開設予定の京都ミュージアム PBL 科目(仮)について

財団が推奨するアクティブラーニングを通して学生のさらなる「情報力」、「発想力」、「対人力」、「構想力」、「問題解決力」など必要な素養を育てるための最適な学びの場を検討し、文化都市・京都ならではの新たな特色のある科目を開設することを計画しています。

2020 年度からの開設に向けた進捗状況及び今後の予定についてご報告いたします。

【開設候補の文化施設】

- ・ 京都鉄道博物館
- ・ 京都国際マンガミュージアム
- ・ 京都市動物園
- ・ 京都水族館
- ・ 京都市美術館
- ・ 京都府立植物園



科目開設に係る 2018 年度の行動計画

7 月～9 月	文化施設との意見交換及び協議	各文化施設へ協力依頼を行うとともに、意見交換や事前協議を行う
11 月	第 2 回事務担当者会議	加盟大学への科目開設計画の事前告知

科目開設に係る 2019 年度の行動計画

7 月	第 1 回事務担当者会議	8 月に行われる科目開設説明会の周知
8 月	科目開設説明会	教員、事務担当者向け説明会
9 月下旬	プラザ推奨科目提出締切	各大学から新規開設申請書の提出
10 月～11 月	大学と文化施設のマッチング	新規開設申請書を参考に行う。
12 月～1 月	シラバスの作成	詳細な授業計画は教員と施設の間で協議する
3 月～4 月	単位互換履修登録	2020 年度より科目開設

なお、詳細な開設計画については 2019 年度第 1 回教育事業企画検討委員会にてご報告いたしますが、本件について協定校の皆さまには学内の関係各所と情報共有頂き、先生方へ広報頂きますようお願いいたします。ご不明な点などがある場合は別途、財団までお問合せください。

また、財団より協定校に向けた科目開設に関する意向をお伺いする場合がありますが、その際はご協力をお願いいたします。

